進路だより第３号
令和８年５月２５日
川口市立戸塚中学校
第４７期　第３学年

数学と英語の入試問題は２種類――「学校選択問題」って何？

５月２１日、埼玉県教育委員会から「令和９年度入試の学力検査問題の出題方針」が発表されました。その中に、**「学校選択問題」**という言葉が出てきます。「初めて聞いた」「ふつうの問題と何がちがうの？」という人もいるかもしれません。この号では、学校選択問題のしくみを、できるだけわかりやすく解説します。志望校選びにも関わる大切な内容なので、保護者の方もぜひ一緒にお読みください。

そもそも「学校選択問題」とは？

■ 埼玉県の入試問題には「２種類」あります

埼玉県の公立高校入試では、国語・社会・数学・理科・英語の５教科の学力検査が行われます。このうち**数学と英語の２教科だけ**は、高校によって次の２種類の問題のどちらかが使われます。

問題の種類	どんな問題？	使われる高校
学力検査問題（共通の問題）	埼玉県の多くの高校で共通して使われる、標準的な問題。中学校で学ぶ内容にそって出題されます。	県内のほとんどの高校
学校選択問題（応用を含む問題）	学力検査問題よりも難しく、一部に応用的な内容を含む問題。思考力や応用力がより問われます。	届出のあった２３校のみ（数学・英語で実施）

※ 国語・社会・理科の３教科は、どの高校を受けても全員が同じ「学力検査問題」を解きます。２種類に分かれるのは数学と英語だけです。

受検する前に知っておきたい３つのこと

① 「学校選択問題」は、自分で選ぶものではありません

名前に「選択」とつきますが、受検生が問題を選ぶわけではありません。**どちらが使われるかは受検する高校によって決まっており、**実施校を志望すれば自動的にその問題を解くことになります。

② 数学と英語は、いつもより難しい問題に挑戦することになります

共通問題より応用的な内容を含み、とくに数学は難しくなる傾向があります。**志望校が実施校か早めに確認し、**応用力を意識した学習を進めましょう。

③ 5教科すべてが入れ替わるわけではありません

学校選択問題でも、**変わるのは数学と英語の２教科だけ**です。国語・社会・理科は全県共通の問題です。落ち着いて、５教科の基礎をバランスよく固めましょう。

令和９年度　学校選択問題を実施する 23 校

令和９年度入試で学校選択問題（数学・英語）を実施するのは、校長から届出のあった次の２３校です（令和８年５月２１日　埼玉県教育委員会発表）。

【県立高校（19 校）】

浦和高校	浦和第一女子高校	浦和西高校	大宮高校
春日部高校	川口北高校	川越高校	川越女子高校
川越南高校	熊谷高校	熊谷女子高校	熊谷西高校
越ケ谷高校	越谷北高校	所沢高校	所沢北高校
不動岡高校	和光国際高校	蕨高校	

【市立高校（4 校）】

さいたま市立浦和高校	さいたま市立浦和南高校	さいたま市立大宮北高校	川口市立高校

※ 上の２３校はいずれも、数学・英語の２教科で学校選択問題を実施します。実施校は年度によって変わることがあるため、最新の情報は埼玉県教育委員会のホームページで必ず確認してください。
※ 昨年度（令和８年度）入試の実施校は２２校でした。令和９年度からは**さいたま市立浦和南高等学校**が新たに加わり、２３校になりました。

中間試験おつかれさまでした――テスト返却からが本当のスタート

５月２３日（金）に、３年生になって最初の定期試験が終わりました。テストは**２５日（月）から各教科で順次返却**されます。点数を見て一喜一憂するだけで終わらせず、返ってきたテストを「次に活かす材料」として振り返ることが大切です。どんな視点で振り返ればよいか、ポイントを紹介します。

① まちがえた問題を「なぜ」で分けてみよう

点数よりも、**「どこで」「なぜ」失点したか**を見ることが振り返りの中心です。①ケアレスミス（わかっていたのに）②理解不足（わからなかった）③時間不足（解ききれなかった）の３つに分けると、①なら見直しの習慣、②なら基礎の解き直し、③なら時間配分の練習、と打つ手が見えてきます。

② 点数より「勉強のやり方」を振り返ろう

結果は、テスト前の取り組み方の積み重ねです。**いつから・何を・どれくらい**勉強したかを思い出し、「直前に詰め込んだ」など思い当たることがあれば、それが次の改善点です。うまくいった教科のやり方を、苦手な教科にも応用してみましょう。

③ 次の目標を「具体的な行動」で決めよう

「次はがんばる」だけでは行動は変わりません。**「数学のワークを試験 2 週間前から毎日 2 ページ」**のように、教科・量・時期まで具体的に決めましょう。振り返りメモを残しておくと、期末試験前に見返せて役立ちます。

④ 次の期末試験までの見通しを立てよう

中間試験の振り返りができたら、次は**期末試験までの予定を立てましょう。**期末試験は６月２５日（木）・２６日（金）に行われます。修学旅行や部活動の大会（学校総合体育大会）、夏の三者面談も近づく時期です。カレンダーに試験日と提出物の期限を書き込み、「いつ・どの教科に取り組むか」を早めに決めておくと、直前にあわてずに済みます。３年生は１回ごとのテストが進路に直結します。中間試験を出発点に、先を見すえて学習を進めていきましょう。

３年生の定期考査は調査書の評定にもつながります。一回ごとの振り返りの積み重ねが、これからの進路を支える力になります。

【保護者の皆様へ】

この号では、入試の「学校選択問題」と、中間試験の振り返り方についてお伝えしました。入試制度を知ることも、目の前のテストに向き合うことも、土台になるのは毎日の授業と日々の学習です。テスト結果に一喜一憂しすぎず、お子さんが自分の学習を前向きに振り返れるよう、ご家庭でも声をかけていただけたらと思います。今後の進路だよりでも、各校の情報や入試のしくみについてお伝えしていきます。気になることがあれば、いつでも担任・進路担当にご相談ください。

コラム　入試問題はどう作られる？

埼玉県は、入試の学力検査問題について「出題の基本方針」を公表しています。それによると、問題は**中学校の学習指導要領に基づいて出題**され、基礎的な知識・技能に加えて、それらを活用して課題を解決する**思考力・判断力・表現力**を見る問題も出されます。記述式の解答を求める問題も含まれます。つまり入試問題は、特別なテクニックではなく、**毎日の授業や中学校での学習の積み重ね**を見るように作られているのです。日々の学習を大切にすることが、入試にもつながります。

■ もっとくわしく ―― 県の発表資料はこちらから

右の QR コードから、埼玉県教育委員会のホームページで今回の報道発表資料（出題の基本方針・学校選択問題実施校など）の全文をご覧いただけます。最新の正確な情報は、必ず県の公式ページでご確認ください。

埼玉県教育委員会

【出典】埼玉県教育委員会「令和９年度埼玉県公立高等学校入学者選抜における学力検査問題の出題の基本方針並びに学力検査の実施教科及び出題範囲について」（令和８年５月２１日報道発表）ほか